

## 柿園管理情報 第2号

令和2年4月30日  
砺波農林振興センター  
城端果樹協会

### 防除について

柿の生育は前年並みとなっています。展葉期はマイマイガやカキクダザミウマの防除適期です。

以下の計画を参考に防除を行ってください。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	100リットル当たり薬量
5月10日頃 (展葉期)	ハマキムシ類 カキクダザミウマ	アタブロンSC	4,000	25ml
5月24日頃 (開花直前)	落葉病 炭そ病	トレノックスフロアブル	500	200ml

※アザミウマ類多発園ではアタブロンSCに替え、アクタラ顆粒水溶剤2,000倍を散布する。

※10a当たりの散布量の目安は350リットルです。

※農薬散布時は、周囲の他の作物に薬剤が掛からないよう、十分注意してください。

※畦畔柿では、アタブロンSC、トレノックスフロアブルが使用できないので、トップジンM水和剤1,000倍を使用してください。

### 平核無・刀根早生の摘蕾について

2L以上の果実にするために、平核無・刀根早生は摘蕾を行いましょう。開花が始まると軸が硬くなり作業がしにくくなるので、早めに摘蕾を行ってください。

- ・ 時期は開花前まで。
- ・ 1新梢に中ほどの大きくて形の良い1蕾を残す。
- 5月に予定しておりました接ぎ木講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から行いませんのでご了承ください。

問い合わせ先：砺波農林振興センター 園芸振興班 谷口 Tel.32-8112